



平成 26 年 4 月 25 日

(公社) 全国産業廃棄物連合会 御中

建設副産物リサイクル広報推進会議  
会長 北橋 建治



機関誌「建設リサイクル」購読のお願い

謹啓

時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

会員各位におかれましては、平素より建設副産物リサイクル広報推進会議の諸活動に御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当広報推進会議は、建設副産物リサイクルの推進に関する広報活動を、構成機関が連携して計画的かつ効率的に実施することを目的に、平成 4 年に設立されました。

以来、当広報推進会議は 20 余年にわたって、毎年開催する総会の承認を得て各年の事業計画を定め、機関誌「建設リサイクル」(季刊)の企画・編集を含む諸活動を行ってまいりました。

国土交通省が策定する建設リサイクル推進計画におきましては、「関係者の連携強化」や「理解と参画の推進」を大きな柱としており、機関誌「建設リサイクル」の定期刊行は、建設リサイクル推進の重要な役割を担っております。

このため当広報推進会議におきましても、発注者、施工者、処理業者などの建設リサイクルの実務に携わる全ての方々に役に立つ行政情報や事例の紹介など、本年度もますますの紙面の充実を図っていくこととしています。

つきましては、建設副産物リサイクル広報推進会議の会員の皆様方に、御購読の申し込みについて御案内いたしますので、何卒よろしく願い申し上げます。

謹白

# 建設副産物対策の総合情報誌 建設リサイクル



「資源循環型社会」の構築に向けて  
実務者に役立つ情報を提供!

編著

企画・編集：建設副産物リサイクル広報推進会議  
発行：株式会社 大成出版社

本書は、発注者、施工者、処理業者など、建設リサイクルに携わる全ての方々のために建設リサイクルを取りまく法制度の動向、新たな技術開発等を、学会・行政・建設産業界の第一線で活躍中の実務者が、より分かりやすく紹介いたします。

## 目次

### 特集記事

ニュース・フォーカス

クローズ・アップ

テクノロジー・トッデイ

建設リサイクルの現場レポート

ほっとひと息 おとなりさんのエコ

## コンテンツ

### ●特集

リサイクルの動向や新制度、技術開発、支援措置等、時代の流れに合わせた内容を、各号ごとに重要なテーマとして取り上げ、様々な視点から特集します。

### ●ニュース・フォーカス

最新のニュース・実務者として知っていただきたい情報について詳しく掘り下げてお伝えします。

### ●テクノロジー・トッデイ

研究開発の最前線からその動向、3R技術についてをお伝えします。またリサイクルの工法としてリサイクル資材、その特徴等を一つ一つ丁寧に紹介します。

### ●建設リサイクルの現場レポート

大規模な現場から都心の狭い現場まで。現場ならではの工夫・苦労した出来事について参考となるレポートを紹介します。

### ●ほっとひと息 おとなりさんのエコ

他の産業の取り組みを取り上げ、建設分野・建設産業以外の3Rの取組みを報告します。

●内容は予告なく変更する場合があります

季刊 年4回(春、夏、秋、冬)発行 A4判・約56頁・定期年間購読料 定価 5,528円(送料込)

詳しくは裏面をご覧ください

コンテンツの紹介



絶滅危惧種クワツラヘラサギの保全に配慮した新幹線橋りょうの新設  
—九州新幹線 氷川橋りょう—

竹野 英二  
（国土交通省 九州地方整備局 次長）

九州新幹線 氷川橋りょうの建設

九州新幹線は、2011年3月11日の東日本大震災発生後、建設が一時中断された。しかし、2012年12月に再開された。この再開にあたって、絶滅危惧種クワツラヘラサギの保全に配慮した新設の橋りょうが建設された。この橋りょうは、クワツラヘラサギの生息地を避けるように設計された。また、クワツラヘラサギの生息地を保全するために、橋りょうの建設にあたって、クワツラヘラサギの生息地を調査し、その結果に基づいて、橋りょうの設計が変更された。このように、クワツラヘラサギの保全に配慮した新設の橋りょうの建設は、環境とインフラの両立を実現するための重要な取り組みである。



ニュース・フォーカス

2 秋田県りょうの建設状況



秋田県りょうの建設状況

テクノロジー・トゥデイ

ニュース・フォーカス

特集

自然由来の重金属を含む建設発生土の処理と対策  
—仙台市地下鉄東西線—

曹川 正行  
（国土交通省 東北地方整備局 仙台圏整備部 主任技師）  
水戸 光昭  
（国土交通省 東北地方整備局 仙台圏整備部 技師）

1—ワート 拡大を意図した地質調査、建設発生土の発生・処理の概要、リスクコミュニケーション、モニタリングによる対策

1 地質調査の概要  
2 建設発生土の発生と処理の概要  
3 リスクコミュニケーションの概要  
4 モニタリングによる対策の概要

特集

特集

岩手県山田町における災害廃棄物処理と再利用について

根本 晃男  
（国土交通省 東北地方整備局 山田圏整備部 主任技師）  
藤田 隆  
（国土交通省 東北地方整備局 山田圏整備部 技師）  
大塚 真一  
（国土交通省 東北地方整備局 山田圏整備部 技師）

1—ワート 災害廃棄物の発生状況、処理状況、再利用の概要、リスクコミュニケーション、モニタリングによる対策

1 災害廃棄物の発生状況  
2 災害廃棄物の処理状況  
3 災害廃棄物の再利用の概要  
4 リスクコミュニケーションの概要  
5 モニタリングによる対策の概要

電子マニフェスト普及と拡大に向けたロードマップの策定について

国土交通省 国土政策課 建設発生土対策室 室長 岡田 隆

1—ワート 電子マニフェストの普及状況、ロードマップの策定の概要

1 電子マニフェストの普及状況  
2 ロードマップの策定の概要  
3 電子マニフェストの活用による効果  
4 今後の展望

特集

震災廃棄物有効利用への取り組みおよび復旧現場の処理状況

講演録  
震災廃棄物処理による発生土、副産物の有効利用の取り組み

高橋 真樹  
（国土交通省 東北地方整備局 山田圏整備部 主任技師）  
田中 大輔  
（国土交通省 東北地方整備局 山田圏整備部 技師）

1—ワート 震災廃棄物の発生状況、処理状況、再利用の概要、リスクコミュニケーション、モニタリングによる対策

ご注文  
お問合せ

建設副産物リサイクル広報推進会議（事務局：（一財）先端建設技術センター）  
TEL.03-3942-3991 FAX.03-3942-0424 URL:http://www.suishinkaigi.jp/  
株式会社大成出版社 営業管理部  
TEL.03-3321-4131 FAX.03-3325-1888 URL:http://www.taisei-shuppan.co.jp/

注文書

FAX.03-3325-1888 (株)大成出版社 行 注文 年 月 日

図書コード	書名	定価(税込)	数量
9998	建設リサイクル	定期年間購読	定価 5,528 円 (送料込)
		単号	定価 1,296 円 (送料別) (本体 1,200 円)

\*単号でご注文の場合、実費送料を別途(1冊300円程度)頂戴します。

所在地 〒

フリガナ 団体・会社名

部署名

担当者名

TEL FAX

E-mail

購読区分 公用・私用

\*ご記入いただいたお客様の個人情報は、ご注文いただいた書籍の配送、ご購入等の連絡およびダイレクトメールのお届け等の弊社の営業活動に限って利用し、その目的以外での利用はいたしません。